

「こども110番のいえ」シールラリー

—自分で自分を守る—

長岡京市立長岡第十小学校 校長 横田 幸雄
〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内玉ノ上22 Tel (075)955-4600

I 学校の規模及び地域環境

1 学校規模 14学級 児童346名 教職員29名

2 地域環境

本校は京都市に隣接した住宅地にあるが、学校周辺にはまだ田畑が残り、長岡京の遺跡をはじめとした自然・文化環境に恵まれている。

安全については、青少年健全育成推進協議会を中心に各団体による地域住民の「見守り隊」、PTAの「おかえりパトロール隊」、各自治会パトロール等を行い、地域での安全確保に努めている。

II 取組のポイント

【平成17年11月5日（土）実施】

「こども110番のいえ」シールラリー

- 1 “助けて！！” 大声コンテスト
- 2 京都府向日町警察署生活安全課からの話
- 3 シールラリー
- 4 表彰式 [体育館及び校区周辺]

III 取組の概要

1 取組の趣旨やねらい

子ども達を狙った事件や不審者情報が各地で相次ぐ中、子どもが「こわい！！」と身に危険を感じた時、自分から駆け込んで助けを求める緊急避難場所である“こども110番のいえ”。しかし現実には子ども達自身がどこにあるか、また、どのように駆け込めばよいか理解していないという実態がある。

そこで“こども110番のいえ”の場所を確認するとともに“110番のいえ”の方との顔合わせすることを目的として、「助けて！！」の大声を出す練習や警察の方からの指導も含めて計画した。

《取組に至る経過》

平成17年度のPTA行事を考える会議で「子ども達



が実際にどれだけ“110番のいえ”を知っているのだろう・・・？」「通学路の安全はどうだろうか？」という声があがった。例年、文化的な行事に取り組んできたという経過があったが、是非、今年は子ども達の安全や校区の“こども110番のいえ”の確認、通学路の点検を実施しようということになった。

夏休みの期間を利用して、PTA会長を中心に本部役員、地域委員のお母さんが“110番のいえ”リストと校区地図を持って、一軒一軒を訪ねて歩くと既に廃業されていてステッカーだけが貼ってあったり、警察の方へ辞退したというお宅もあった。猛暑の中、狭い校区と考えていたにもかかわらず、3町内を確かめて歩くのに数日を要した。

どのような形で“110番のいえ”を訪ねて歩けばよいか・・・、子ども達に安心を意識させる取組をするか・・・。各方面に尋ねても参考となる前例がなく、“110番のいえ”を確認した地図をもとにPTA会長を中心に検討が始まった。

「野外でのオリエンテーリング形式を取り入れて

はどうか・・・」「警察の方にも協力してもらおう・・・」「“助けて”の大声コンテストをしてはどうか」「途中の公園でゲームをしよう」と会員から、様々な意見が出され、また、子どものチーム分け、参加者数、当日の役員は・・・実施をめぐって激論が交わされた。その結果、

- 子ども達が“110番のいえ”を一軒一軒訪ねて歩き“110番のいえ”の人とふれあい、つながりを持たせる。
- 低学年と高学年の子ども同士のつながりを深める内容にする。
- 交通事情に配慮し安全に万全を期する。
- 「助けて！！」の大声を出す練習をする。
- 警察に協力を依頼し、安全についての指導をしてもらう等の内容が決まっていった。

2 取組の内容、計画、方法等

(1) 大声コンテスト〈約30分〉

[方法]

- ・時間の制約上、子どもを4～5人のグループに分ける。
- ・順番に体育館のステージ上から、ステージ下の5メートル離れた所の騒音測定器に向かって司会者の合図で「助けて！！」の大声を出す。(最高100.7デシベルを記録)
- ・PTA記録係3名の内、一人は数値読み上げ、二人は用紙に記録する。
- ・グループ毎に、測定結果をすぐに発表する。

[騒音測定器は、京都府乙訓保健所より借用]



(2) 安全の話〈約30分〉

- ・京都府向日町警察署生活安全課より、安全について話してもらう。
- ・「110番電話のかけ方」を、実際に機械を使って可能な限り、たくさんの子どもの練習させる。

(3) 『こども110番のいえ』シールラリー〈約100分〉

各学年で4～5人のチームを作る。

(4年生以下のチームには地域委員・学級委員が1人ずつ付き添う)

[方法]

- ・“110番のいえ”の人に挨拶し、シールを貼ってもらう。また、角宮神社・公園等でゲームやクイズをする。
- ・ゲームやクイズ、大声コンテスト等の点数によって順位をつける。

[当日の参加]

*参加児童数 計94名 (21チーム)

*参加役員 計49名

〈教職員〉	7名
〈PTA本部役員〉	13名
〈PTA学級委員〉	12名
〈PTA地域委員〉	17名

(4) 表彰式〈約10分〉

【校長賞】 学校農園の野菜、文具

【PTA会長賞】 1・2・3位 文具

【参加賞】 全員にボールペンとジュース

3 実践の成果

- ◇ “110番のいえ”を親子共々、また学校関係者も再認識することができた。
- ◇ これまで交流のなかった“110番のいえ”の人と取組を通して話ができ、子ども達も親しく接することができた。
- ◇ 親子そろって校区の危険箇所の点検ができた。
- ◇ 集会等、機会あるごとに「助けて!!」と大声を出すことの大切さについては指導してきたが、具体的に〇〇デシベルと示し、みんなで大声を出す練習が楽しくできた。
- ◇ 警察の方から機械を使って「110番電話のかけ方」を疑似体験できて良かった。
- ◇ 子ども達が予想よりも自主的に回り元気よく挨拶できていた。

4 課題等

- △ “こども110番のいえ”が地域に少なく、今後さらに増やす必要がある。また、看板が見にくくなっている所があり、定期的な交流・点検をしたい。
- △ 今回の取組では時間の関係から3つの町内のうち1つだけ省いた形で実施した。なるべく早い時期に第2弾を行いたい。
- △ PTA要員の場所によっては待ち時間が長い所があり、大変だった。
- △ コースの中で車の通行が多くて、危険な場所があったので、要員等の工夫が必要である。



IV 親の感想より

- 110番のいえが、どこにあって、どんな方がいらっしゃるのかがよくわかって良かったです。シールも子ども達が喜び、キラキラでとても良かったと思います。

地図もわかりやすく、要所には係の人が居てくれたので安心してまわれました。普段、車やバイクを使っているの、実際に歩いてみると車が多く危険さもよくわかりました。特に、〇〇医院の交差点付近。子ども達と一緒に大きな声で挨拶できたのも気持ち良かったです。役員の皆様、ごくろうさまでした。
- 大声コンテストで、声を出す練習をしたり110番のいえの方に、顔を合わせてシールを貼ってもらって、家の場所と顔を覚えることができて良かったと思います。西の京公園の向いの家の所でチームが集まってしまったので、車の通行が多く、危険でした。
- 子ども達が楽しくシールラリーができて良かったと思います。

大声コンテスト、恥ずかしがるかなあ〜?と思ったけど、子ども達は大きな声で“助けて”と叫んでいました。何かあった時も大声で叫べたら、誰かに助けてもらえるので安心しました。
- お天気にも恵まれて、子ども達もとても楽しく参加できたと思います。校区内でも普段、あまり知らない道を通ったり、110番のいえの人がどんな人なのかもわかったので、とても良かったと思います。
- 子ども達は、みんなと楽しくまわることで


きました。3年生は、列を乱さずお互いに声をかけ合いながら歩きました。友達同士、ペースを合わせ協力して行動していた。(100点!!)

子ども達には、地図が少しわかりにくいようでした。○番の家の前は、車の通りも激しく、大勢集まってしまい危ないと思いました。



「こども110番のいえ」シールラリーカード

B ねん し なまえ
チーム 年 組 名前

<p>おおこえ 大声コンテスト</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 100%; height: 60px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: right;">せん 点</p>	<p style="text-align: center; font-size: small;">すみのみやじんじや</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">角宮神社</p>	<p>ほんどん ねん けい 本殿の前の拍犬 頭に角があるのは どちらでしょう? ○をつけてね。</p>
↑ 1	↑ 2	↑ 3
○ ○ せん	△ △ せん	□ □ せん
↑ 4	↑ 5	↑ 6
○ ○ せん	△ △ せん	<p>にし きやうこうえん 西の京公園 ペタビンゴ</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 100%; height: 60px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: right;">せん 点</p>
↑ 6	↑ 7	↑ 8
○ ○ せん	△ △ せん	□ □ せん
↑ 9	↑ 10	↑ 11
○ ○ せん	<p>そうごうてん 総合得点</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 100%; height: 60px; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: right;">せん 点</p>	<p>おつかれさま! よくがんばりました。</p> <p style="text-align: right;">🌸</p>

平成17年11月5日(土)

長岡京市立長岡第十小学校

「こども110番のいえ」
シールラリー

「こども110番のいえ」

マップ



シールラリー

京 都 府 楽 天 厚 野

2005年(平成17年)11月6日 日曜日

地域 26

洛西総局 075-933-1121 FAX 075-933-1122
本社社会報道部 075-241-6119 FAX 075-252-5454

洛西ワイド

長岡第十小
「こども110番のいえ」
シールラリーで
避難場所を確認

長岡京市井ノ内の長岡第十小とPTAが五日、児童対象の防犯訓練「こども110番のいえシールラリー」を行った。児童九十二人が参加、校区



「こども110番のいえ」の住人からシールをもらう児童ら(長岡京市井ノ内)

たずね被害が各地で相次いでいた。児童を狙った悪質な

ぐ中、子どもの一時的な避難場所として期待される「こども110番のいえ」の位置を正確に知ってもらおうと実施した。校区内にある計二十一軒のうち今回は井ノ内、西ノ京地区の九軒が協力した。児童らは、保護者が作った手書きの地図を見ながら「いえ」を巡り歩き、住人からシールをもらった。

PTAの藤山善弘会長は「地域の人と顔見知りになっておけば、子どもらも助けを求めやすい。しかし、『こども110番のいえ』の軒数が少ないので、今後、拡充していく必要がある」と話していた。